

北区役所新庁舎整備に係る提言について(概要)

- ・平成28年12月27日9:10 市長宛の提言書で北区長に提出
- ・提出者＝J Cにいがた北青年会議所 理事長 荘司忠 外3名

アンケート結果からみる新北区役所の3つのコンセプト 「誰でも使いやすい庁舎」「人の集う庁舎」「子どもがわくわくする庁舎」

提言① 子どもが思いっきり遊べるフリースペースの設置

- ・北区は住環境がよく、ベッドタウンとして発展してきました。現在でも多くの子育て世代住んでいます。
- ・今後ともベッドタウンとして発展する可能性があるまちであり、子育てしやすい北区であるため、区のシンボルである区役所に「子どもが思いっきり遊べるフリースペース」があることは、子育て世代への何よりのメッセージになる。
(例：新発田市の「いくねすしばた子どもセンター」多くの子ども達が元気に遊んでいる。)

提言② 利用者にやさしいユニバーサルデザイン

- ・現区役所は、急な階段や使いにくいトイレなど、必ずしもやさしい造りではありません。
- ・新庁舎には「どなたでも歓迎します」というオープンな姿勢と、「誰にでもやさしい設計」が求められます。
(例：バリアフリー、多目的トイレ、授乳室、オムツ替えスペース)

提言③ 利用者にやさしい窓口

- ・アンケートの「今の区役所の不点」と「今後の区役所に求める点」の両方に「わかりやすい窓口」との意見がありました。これは多くの区民が「窓口がわかりにくい」と感じていることが伺えます。
- ・新庁舎では、利用者が手続きごとに動くのではなく、職員体制を変えるなど、利用者目線の「わかりやすい窓口」が求められます。
- ・同時にプライバシー対応も必要です。知られたくないことなどは、「個室での対応」なども必要です。
(例：長岡市の総合窓口)

提言④ 飲食できるスペースの設置

- ・アンケートでは「飲食できるスペース」「商業スペースの充実(食堂・カフェ・コンビニ等)」を求める声も多くありました。これは区役所に行政手続きを目的に行くだけでなく、周囲に図書館、文化会館があることなどから、「何かのついでに区役所に行く」ことが考えられることが考えられます。
- ・区役所にぶらっと立ち寄り、イートインスペースでご飯を食べながらの休憩、商業テナントで用事を足すなど、立地特性を活かした時間の使い方を提供することができます。

提言⑤ 駐車スペースの拡充

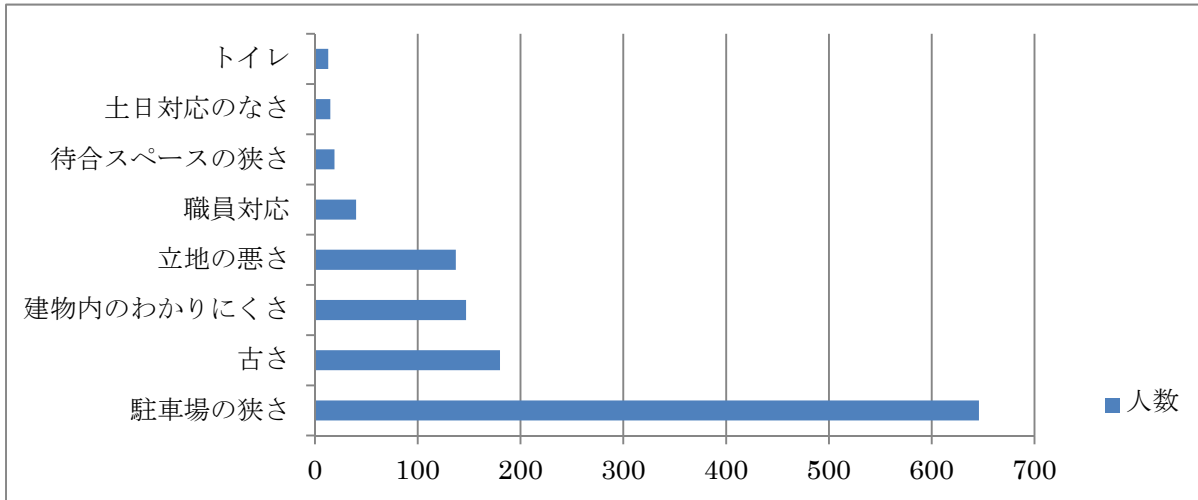
- ・アンケートの中で最も要望が多かった駐車場の確保、利便性の向上です。現状は正面入り口から見ると、常に満車であるような印象を受ける方も多いのではないのでしょうか。
- ・駐車場の確保は移転することで概ね解消されるものと思われませんが、広い駐車場はそれだけ駐車位置から施設までが遠くなります。
- ・駐車場内の歩道の整備、悪天候を考慮しての屋根の設置や体が不自由な方への優先スペースの確保等も必要です。

アンケートの結果概要

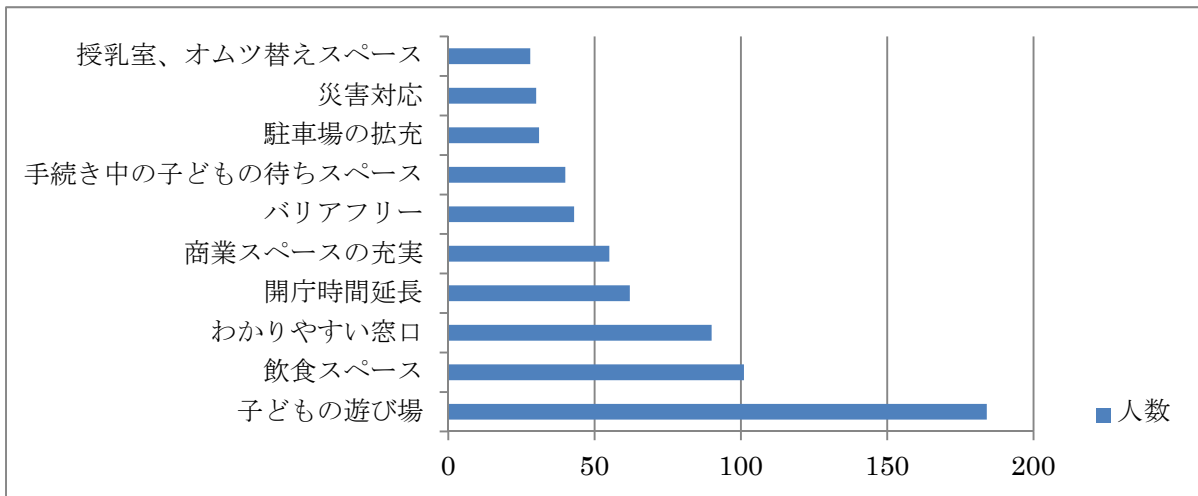
1 アンケートの実施内容

- ①実施日：平成28年10月上旬
- ②配布対象：約9,000件<区内の保育園、幼稚園（一部）、小中学校、高等学校の保護者等>
- ③回答件数：2,258件<回収率約25%>
- ④回答者性別：男性24%、女性76%

2 調査項目＝「現庁舎の問題点」



3 調査項目「新庁舎に求めるもの」



参考：区役所移転の認知度

「北区役所の移転新築計画をご存知でしたか？」に対する回答では、「知っていた」が35%、「知らなかった」が58%で区役所移転の認知度は非常に低い結果となっています。また、認知の有無にかかわらず、「興味がない」があわせて6%となっています。

